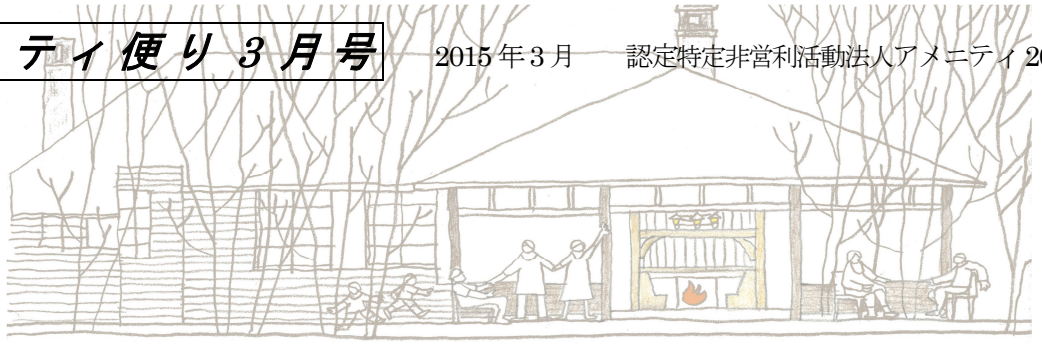
アメニティ便り３月号

2015 年３月　　認定特定非営利活動法人アメニティ 2000 協会



お知らせ

・畑儀文の合唱教室　３月９日（月）23 日（月）　草志舎
・六甲山荘作業　３月 10 日（火）
・六甲山荘作業&研修　３月 28 日（土）
・六甲山荘公開準備　４月３日（金）
・六甲山荘公開再開　４月４日（土）
・2015 年上期セミナー第１回　４月 11 日（土）　草志舎
・和のこもの展　４月 22 日（水）23 日（木）　草志舎
・ヴォーリズ六甲山荘春の特別公開　４月 29 日（火・祝）～5 月６日（火・祝）
・2015 年上期セミナー第２回　５月９日（土）　草志舎
・2014 年度通常総会　５月 23 日（土）　草志舎

タイ・訪問校で鯉のぼりをあげる

創立 15 周年・認定ＮＰＯ認証記念事業

2015 年は創立 15 周年、そして昨年暮れには認定 NPO の認証を受けました。それを記念してつぎのような活動を企画しています。

☆記念講演会・協議会の調査報告の開催　　７月 11 日（土）　神戸女学院

第一部：講演者　森孝一神戸女学院院長

神戸女学院はさきごろヴォーリズ建築としてはじめて重要文化財に指定されました。その経緯や指定を受けられた思いなどを重文の講堂で森院長から伺います。

第二部：シンポジウム

・宝塚雲雀丘花屋敷の地域保存計画（パネラー中嶋節子京都大学准教授）
・阪神間のヴォーリズ建築（パネラー田淵結関西学院宗教総主事　予定）

文化遺産継承協議会の第一次調査報告をうけ、お二人のお話しを伺います。

☆六甲山荘特別公開

春季　４月 29 日（水・祝）～5 月６日（水・休）　８日間
秋季　９月 19 日（土）～27 日（日）　９日間　同時開催・鍛鉄作家西田光男作品展

☆神戸国際ワーキングホリデー　８月 24 日（月）～28 日（金）場所・ヴォーリズ六甲山荘

海外からの参加者と一緒に六甲山荘で生活をともにして、山荘のメンテナンス作業をおこない、交流します。

☆アンサンブル・アメニティコンサートの開催　11 月 23 日　場所・カトリック夙川教会

協会のアンサンブルが２年ぶりにひらくコンサートです。

☆INTO 世界大会に参加　９月　　場所・英国ケンブリッジ

協会が加盟している INTO（国際ナショナル・トラスト機構）の世界大会にはじめて参加します。

☆冊子「英国ナショナル・トラストの旅」の出版

これまで７回にわたって訪問してきた英国とスコットランド、アイルランドのナショナル・トラストのプロパティを紹介する冊子です。

☆「アメニティ・レポート記念号」の発行

各方面からのお祝いの言葉、15 年の協会の活動記録などを掲載予定です。

予告　2015年度セミナー「わたしたちにとって文化遺産とは～その２」　＜主催：文化遺産継承協議会＞

アメニティ・アカデミーの第Ⅶ期セミナーは文化遺産継承協議会の主催で、「わたしたちにとって文化遺産とは～その２」という題で次のように開きます。歴史ある建物が次々と消えていく時代に、貴重な文化遺産をどのようにすれば、私たちの手で次代につなげていけるかを、さまざまな角度から探ります。

４月１１日（土）	アメニティ2000協会１５年の歩み	講師　清水彬久（理事長）
５月　９日（土）	「文化遺産の現状と提言」第１次調査報告	講師　文化遺産継承協議会
６月１３日（土）	ナショナル・トラスト運動	講師　清水順子　（事務局長）
７月１８日（土）	自然と社会の共生の実験	講師　畷悦喜　（コウノトリの郷営農組合前組合長）
９月２６日（土）	オランダの文化遺産の保存	講師　奥村太朗　（弁護士）

＊いずれも午後２時から。講演のあと懇談の時間をもうけます。

受講料　：全講座受講（５回分）　会員　８,０００円　一般１１,０００円
　　一部受講　１回につき　会員２,０００円　一般２,５００円
定　員　：２０名（定員に達し次第締切ます）　　会　場　：草志舎

詳しくは同封の案内チラシあるいはホームページをご覧ください。

2014年７月　講師・森本アリ

ご報告　新年会・関西地区　　１月10日（土）　草志舎

今年は認定NPOの認証のお祝いをかねて、大勢の方が集まってくださいました。リコーダー、クラヴィノーヴァの演奏も華をそえて、楽しく和やかな会でした。お祝いの鯛の塩釜焼きがなかなか割れなかったのもご愛嬌でしたね！

ご報告　新年会・関東地区　　１月25日（日）　涵徳亭

はじめての東京での新年会でした。大勢の方が参加され、お顔をあわせることができて、実りのある会でした。これからは関東会員による自主企画もどんどん計画しましょうとの頼もしいお声がでて、今後がますます楽しみです。幹事の皆さま、ありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。

ご報告　タイ交流旅行　　２月９日（月）～15日（日）

２年に一度の訪問ですが、いつもとかわらぬ大歓迎を受けました。子供たちの笑顔を見るのが一番の楽しみですが、村の人たちによるお昼ご飯もおいしいのです。お土産がわりにアボカドの苗を植えました。３年後には実をつけるそうです。訪れる楽しみがまた増えました。

ヴォーリズ六甲山荘公開始まります

ヴォーリズ六甲山荘の一般公開は４月４日（土）から始まります。原則として土日祝日の公開ですが、春と秋には創立15周年を記念する特別公開もあります。お知り合いにどうぞお案内ください。

このアメニティ便りを封書お送りする方には公開案内のチラシを同封しています。ネットでご覧の方でチラシがお入用でしたら、ご連絡ください。お送りいたします。

山荘スタッフ　してみませんか

六甲山荘の公開活動を支えるのはスタッフの皆さんです。受付、販売、喫茶をになうスタッフを募集しています。

スタッフは誰でもできる仕事です。ガイドにはマニュアルがあります。公開前には研修もいたします。

せっかく六甲山荘というすてきな建物を“みんなで所有”しているのです。どんな所かと覗いてみる気持ちで、どうぞ気軽にトライしてみませんか。

六甲山荘　公開前の準備

春も間近　六甲山荘も４月４日（土）から一般公開を再開します。それに先立ち　次のように準備をします。

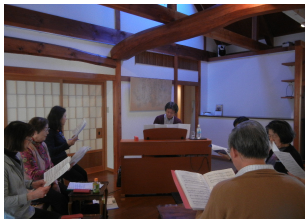
３月28日（土）スタッフ研修と館内清掃、屋外作業　　午前10時より
４月３日（金）スタッフ研修と館内準備、屋外作業　午前11時より

ガイド研修はマニュアル制作者の佐野宣治さんが担当されます。また受付、販売、喫茶についての研修もします。はじめてやってみようという方も、経験のある方も復習のために、ぜひどちらかの日にご参加ください。
なお表六甲ドライブウェイは再開しました。阪急六甲から記念碑台行きのバスで来られる方は３月28日（土）は９時15分、４月３日（金）は10時10分発をご利用が便利です

六甲山荘の作業をご一緒に！！

３月の作業は２回の予定です。
３月10日（火）28日（土）
28 日はスタッフ研修と館内の掃除もかねています。
山の上とはいえ、寒さも少しはやわらいでいるでしょうか。日曜大工や日曜庭師の練習として、みんなで山荘の整備をしませんか。温かいお昼ごはんも用意します。ぜひご参加ください。

2015年度の合唱教室



参加者の強い希望に応えてテノール歌手の畑儀文さんの指導による合唱教室が2015年度されます。畑さんみずから伴奏し、一緒に歌われる贅沢な教室です。あなたもご一緒にいかがですか。
開催日　原則として第３月曜日　10時半（8月はお休み、また7月は13日、9月は28日、12月は14日になります）
場所　　草志舎（阪急西宮北口駅より徒歩３分）
参加費　会員（11回通し）20,000円　　一般（11回通し）25,000円

予告　和のこもの展

春の恒例行事、和のこもの展が開かれます。和の布地を材料にしたこもの類と押し花の作品がならぶ人気の展示即売会です。上質な素材、センスのいい色づかい、ていねいな手仕事で、すてきな品々ばかりです。ぜひおいでください。
また協会は昼食と喫茶を担当します。準備と当日のスタッフも募集していますので、
こちらにもご参加ください。

日時　**４月22日（水）、23日（木）**
午前１１時～午後３時
準備　21日（火）午後１時

場所　　草志舎

マーマレードをつくりましょう！

熊本の中嶋さんの有機栽培の甘夏をつかってマーマレードをつくります。もちろん添加物も防腐剤も一切つかいません。できたマーマレードは冷凍して六甲山荘などで販売します。希望者にもお頒けします。
このマーマレードをご一緒につくりませんか。今回は例年より早めにスタートして、瓶詰までしようと思っています。
日時　**３月17日（火）午前11時より**
場所　　草志舎
持ち物　包丁、エプロン

おいでになれる方はご連絡ください。

【コラム】　　お客さまの声

清水　順子

六甲山荘の来場者には資料と一緒にアンケートをお渡しします。回収されたアンケートを読むのは楽しみです。

「ヴォーリズ六甲山荘一般公開の企画は如何でしたか」という質問にはほぼ１００％「良かった」に〇がついています。見るたびに「喜んでくださってよかった、よかった」と内心にやついてしまいます。

意見を書く欄によくでてくるのは、「親切な応対が良かった」「丁寧なガイドでわかりやすかった」「建物の事がよくわかった」というスタッフへの感謝の言葉です。これにも内心「当然！みんなあんなに熱心に勉強してやってるのだもの」と胸をはっています。ときどき「コーヒーがおいしかった」「おいしいケーキだった」という声もあります。プロではないけれど、カップも温めて一生懸命にいれたコーヒーを喜んでもらえてよかったと胸をなでおろします。

六甲山荘のスタッフをしていいところは、じかにお客さまの声が聞けることです。ヴォーリズファンや建物好きの間ではヴォーリズ六甲山荘はだんだんと知れ渡っているようで、遠方から来られる方がちょくちょくあります。名古屋から来たんだが、前は閉まってて残念だった、今日は念願かなってはいれましたと言われると、ありがたくもあり、遠方から無駄足させて申し訳なく思ってしまいます。そうするとガイドにもいっそう熱がはいるというものです。建築関係のお客様はさすがに目の付け所がちがって、そんな人から「ここはすごいね！」と言われると、自分のことのように誇らしく感じます。

そう、自分のことのように！　六甲山荘は私たち会員みんなのものなのですから、我が家と同じことです。皆さんも時間があればぜひ山荘で、ご自宅と同じように掃除をしたり、お客さまを迎えたりしてみてください。お客さまが喜んでくださるのがスタッフの醍醐味。あなたも味わってみましょう！

予告　　**２０１４年度通常総会**

今年度の総会をつぎのように開催します・“一年の計”を皆で話しあう大切な場です。皆さま奮ってご参加ください。

日時　**５月２３日（土）午前１０時半**

場所　草志舎

総会のあと**会員交流会**をひらきます。食べたり飲んだりしながら賑やかに楽しいおしゃべりのひと時をお楽しみください。また会場の草志舎に**会員の作品をかざって作品展**をいたします。皆さんの趣味の作品をご出品ください。

アメニティ・レポートに「会員の声」募集

1 月号にも書きましたが、5 月に発行するアメニティ便りに「会員の声」を募集しています。今年は特に 15 周年記念号ですので、「15 周年に寄せる」言葉も歓迎です。

字数　400 字前後（長くても OK）

締切　3 月末日

原稿は郵送でも、FAX でもメールでも結構です。あなたのお声をお待ちしています。

◇◆◇おしゃべりアラカルト◇◆◇

2014 年度下期セミナー　私たちにとって文化遺産とは　第 3 回　雲雀丘花屋敷

撫養　奈津子

「郊外住宅」

雲雀丘地区は 1916 年（大正 5 年）阿部元太郎氏が住宅地の開発を始めてから 2016 年で 100 周年を迎えるという。明治 20 年代頃から工業都市大阪の発展は、石炭による大気汚染や排水による水質汚染が進み、こうした環境を嫌った人達が郊外へと移り住んだ。阪神間では明治 33 年頃から御影住吉地区に富豪達が居を構え、その後鉄道網の発達により電鉄会社による大阪市内に住む中間層の転居が進んだ。電鉄会社の郊外住宅地開発が大半であった中、雲雀丘は阿部元太郎氏個人による開発、花屋敷は大正 6 年河崎助太郎氏の土地会社による開発であったことで、他の住宅地には見られない個性的な景観が生まれた。

「大正モダニズム」

2000 年 11 月にこの地域に居住の有志達が編集発刊なさった『宝塚雲雀丘・花屋敷物語』のトップページに「北摂の山々の南端、大阪平野を眼下に望む丘陵地帯の森の中に、赤い屋根の西欧風の家並みが点在し始め、大正から昭和初期にかけてロマンとそこはかとなき夢を持たせてくれた・・・」とある。この時代のライフスタイルはまさに大正モダニズム。コミュニティ意識が高く「屋敷林」の中に住まう人達は、大広間でダンスを楽しみ、ステンドグラスがアクセントの部屋でビリヤードで歓談し、旦那衆の煎茶会や謡などの会合も持たれたようだ。

見学会のこの日、保存活動をされている方の熱い思いをお聞きしました。100 周年を来年迎えるにあたり、「雲雀丘 100 年浪漫委員会」では様々な部会への参加を呼びかけておられます。アメニティメンバーにも、阪神間で魅力あるこの景観と歴史を学ぶ機会を、是非持ってほしいと思いました。

六甲山荘便り

1月2月の作業は1月16日（金）、2月18日（水）でした。屋根にかかる木の枝を伐採して、薪になるようにカットする作業は、単純ですが量が多いので時間がかかります。また境界線のフェンスの杭がいたんでいるので、その修繕をしました。新しい杭の根元を焼き、古いのと交換し、新しい鉄条網をはります。足場がわるいので3人がかりで行いました。次に山荘に来られたら、門の手前の道路沿いのフェンスが新しくなっているのをごらんください。

幸い雪には降られませんでしたが、寒い日の楽しみはお昼ご飯。こたつでぬくもりながら温かいさつま汁など食べながら、作業のあれこれを話し合うのも冬ならではです。皆さん、お疲れさまでした！

≪お薦めの本≫　　***椿昇、原田祐馬、多田智美編著「小豆島にみる日本の未来のつくり方」***

土屋　隆英

東京一極集中の是正や地方創生の必要性が指摘され、具体的に何ができるのかという議論が様々な分野で行われるなか、地域の住民の現実的な生活やビジネスまでをも見据えた「コミュニティづくり」が日本の様々な地域で行われている。

こうした取り組みのひとつを詳細に教えてくれるのが、2013 年に開催された「瀬戸内国際芸術祭」の「小豆島　醤の郷＋坂手港プロジェクト」を記録した本書である。阪神淡路大震災以後運航がなくなった小豆島・本州（神戸）間のフェリーが、2011 年に 16 年ぶりに復活したことを背景に、持続可能な地域の盛り上げを模索していた小豆島町長が、国際芸術祭参加を契機として、アーティストやデザイナー、建築家等との協働を通して行ったプロジェクトの数々が紹介されている。

各々のプロジェクトの内容については本書を参照頂きたいが、具体例を挙げると、醤の郷は文字通り醤油醸造の町で、本書によれば、約 90 件の登録有形文化財に認定された建造物が集積しているという。こうした建物を活用し、アーティストが滞在して作品制作したり、ラジオ局や映画鑑賞スペースが開設されたりする取組みからは、一過性のイベントではなく継続的で持続可能な地域活性化や人々のつながりの構築を目指す「関係性づくり」への本気度が伝わってくる。

行政関係者、アーティスト、建築家、デザイナーなど様々な立場の人々によるエッセイや対談、具体的な実践の記録の詰まった本書には関係者の本音が率直に語られ、都市、郊外、田園、離島など地域の状況や規模に拘わらず、あらゆる「地域づくり」への応用や「生き方」の模索のための思考の種になる一冊である。　　（誠文堂新光社、2014 年）

ヴォーリズ建築文化全国ネットワーク
全国大会～～静岡

静岡にもヴォーリズの建築がいくつか残っているのですね。大阪から2時間少々で着きます。楽しみに訪ねたいと思います。

6月6日（土）講演会と懇親会

7日（日）見学会（予定）静岡英和宣教師館、マッケンジー邸、焼津ルーテル教会

詳しいご案内は5月にお送りします。

予告　**第11回コウノトリの郷との交流**
トラスト・ユース・センター・プログラム

コウノトリを育むための田んぼで育てたお米がおいしいとは、人間も自然のなかで生かされていることを実感します。そのお米のための田植えをコウノトリの郷でします。

月日　5月30日（土）

詳しいご案内は5月号に同封します。

予告　**INTOの世界大会に参加しましょう！**

INTO とは国際ナショナル・トラスト機構（International National Trust Organisation）のことです。50の国と地域の62の団体が加盟しています。ナショナルトラストという名称のとおり、後世に伝えるべき自然や歴史的資産を守っている世界中の組織が集まっています。日本からはアメニティ2000協会だけが参加しています。2年に1回世界大会をひらきますが、2015年の会場は英国ケンブリッジです。この大会に参加しませんか。

月日　　**2015年9月7日～11日**
会場　　ケンブリッジ大学とその周辺のプロパティ
参加費　　360ポンド（≒66,600円）（3月31日までの早期割引）

詳しくは同封の案内チラシあるいはホームページをごらんください。

募金のご報告～12 月 1 月に次の方々から募金をいただきました。ありがとうございました。（敬称略）

＊トラスト募金
《12 月 1 月合計 156､820 円　2014 年度累計 483,220 円》
＊教育基金
《12 月 1 月合計 5､000 円　2014 年度累計 45,000 円》

コンサートのご案内

アンサンブル・アメニティのメンバーによるコンサートのご案内です。

＊畑儀文テノールリサイタル
“日本における最高のドイツリート“
日時　5 月 10 日（日）15 時開演
場所　京都府立府民ホール“アルティ”
14 時よりプレトーク、終演後交流会があります。
問い合わせ先　075-441-1414（アルティ）

＊春木浩子ハープリサイタル
“フルート、ヴィオラと奏でる春の風”
日時　4 月 10 日（金）　19 時開演
場所　ザ・フェニックスホール
問い合わせ先　0798-69-3301（フェリーチェ音楽院）

会員・島田恒さんの本

会員で監事の島田恒さんが**「働き盛りのＮＰＯ」**という本を出版されました。企業人として、ＮＰＯ活動家として活躍してこられた島田さんが副題を“ドラッカーに学ぶ「真の豊かさ」“として、充実した生き方を提案する内容の本です。アメニティ 2000 協会も紹介されています。
本屋にもありますが、事務局でも扱っています。
東洋経済新報社、1500 円

ご寄付いただきました

米津寛司さんのご紹介でカネサ金物店さまから大工道具を寄付いただきました。のこぎり、ハンマー、レンチなど約 50 点です。そのうちのバーナーをさっそく作業で杭を焼くのにつかわせていただきました。ありがとうございました。

タイ交流旅行

民族舞踊を踊る生徒たち

豚舎の世話をする生徒たち

メコン川・黄金の三角地帯